

はじめに

我が国の自殺死亡数は平成 10 年以降 14 年連続して 3 万人を超える状況が続いていましたが、平成 24 年は 3 万人を下回りました。とはいえ、依然厳しい状況が続いていることに変わりはありません。

自殺対策の推進に当たっては、地域の実情を把握し、それを踏まえた効果的な対策を講ずることが重要です。平成 21 年に創設された「地域自殺対策緊急強化基金」を活用した取組も 4 年が経過し、各都道府県・市町村において創意工夫を凝らした対策が進められています。

本書は、同基金を活用した事業の中から、他の地域の参考となると考えられる 56 事例についてとりまとめたものです。

課題別取組事例編においては、現場の視点から、地域の特性、事業の背景・目的・内容、実施に当たっての運営体制、成果、工夫点、課題等について盛り込まれています。さらに、今後より多くの地域での取組が期待される先進的事例を、詳細編において詳しく紹介しています。

都道府県、市町村、関係機関、民間団体など自殺対策に取り組む皆様におかれましては、地域における自殺対策事業の企画、立案、実施、評価の各場面において、本書をご活用いただくことにより、より実効性のある取組が展開されるよう願っております。

最後になりましたが、お忙しい中ご執筆いただいた各事業の担当者の方々に紙面を借りて感謝申し上げますとともに、皆様の自殺対策にかける熱意に敬意を表します。

平成 25 年 5 月
内閣府自殺対策推進室